

平成28年度 美術Ⅱ シラバス

教科名	美術Ⅱ	単位数	2単位	対象学科・学年	普通科・2年生
使用教科書	美術Ⅱ 光村図書			担当	印

1 学習の目標

- ①主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- ②対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- ③自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	指導内容	評価方法	時配
1 学期	4	オリエンテーション	全般	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持たせる。	作品感想 作品感想	1
	5	レタリング	デザイン	・提出物、テスト、授業態度を総合して評価を行うことを説明する。		4
	6	詩をイメージしてのポスター	デザイン	・明朝体、ゴシック体の特徴を理解し、デザインされた文字の美しさを感じ取る。		1 4
	7	鑑賞（現代美術）	鑑賞	・自ら思い、考えたことや感じたことを詩に表現させ、詩か想像した世界を絵画で表現する。 ・現代美術の特徴を理解する。 ・作者が作品に込めた思いや願いについて、想像させる。		自己評価 相互評価
2 学期	9	鑑賞（ポスター）	鑑賞	・複数のポスターの共通点や相違点について、気がつくことができるようにする。	自己評価 相互評価	2
	10	ポスター制作（学校行事）	デザイン	・意図に応じた表し方、色彩、形体、文字、材料や用具、制作方法を工夫する。	作品感想	8
	11	平面構成	デザイン	・遠近や奥行きの表現方法の歴史・特徴を理解する	作品感想	1 5
	12	墨絵	絵画	・投影図や透視図法の作図を使い工夫して取り組む。 ・色の進出後退や対比について理解し応用する。 ・墨の濃淡によるかすれやにじみなどの多様な表現方法を知る。	作品感想	1 0
3 学期	1	動きをつくる	彫刻	・伝えたい情報を効果的に絵と動きで表現する方法を理解する。	作品感想	1 1
	2	鑑賞（沖縄の美術・工芸）	鑑賞	・沖縄の美術作品や工芸品から美しさや機能美について気づかせ、郷土を愛好する心情を育てる。	自己評価 相互評価	2
	3	学習のまとめ		・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。		1

3 評価の観点、内容及び評価方法

美術への関心・意欲・態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②表現の主題に関心を持ち、意欲的、主体的に取り組み表現の楽しさや喜びを感じることができるか。
発想や構想の能力	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自然や造形の良さや美しさを感じたり、個性豊かに発想し創造的に表現を工夫している。 ②物事に対して新しい発見をしようという姿勢や、独創的な考え、柔軟な考え方で表現の工夫をしようとしているか。
創造的な技能	①示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、自分の作品のイメージにあった表現方法に合わせて工夫をしているか。 ②効果的な構想や色彩などを工夫し、様々な技法を活用して目的に合った表現をすることができる。
鑑賞の能力	①美術作品や作者、歴史について幅広く理解しようとし、その良さや美しさを味わうことができるか。 ②他者の作品を鑑賞しあい、互いのよさを認め合うことができたか。
以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。 ①学習の取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品(完成度、自己評価、制作しての感想など) ③鑑賞プリントの内容	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思っていないですか。美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で思ったように表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、美術が好きになり、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりする中で、豊かな心や感性を持ち、創造的な表現技能と美的直感力や創造的発想力を身につけることができます。

いろいろやってみる中で、自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。